

## JRCA 2016年第2回理事会 議事録

2016年5月26日(木) / 文京区民センター2-B会議室 18時より

出席者：長瀬、中原、中島、勝田、高桑、西井、  
河野、安藤、斉藤、福永、保井、倉林、伊藤

### 1：会費納入状況の報告

事務局より5月25日時点の会費納入状況の報告が行われた。2015年度の個人会員数は111名で、そのうち55名が2016年度の会費を支払っており、2016年度新規会員は21名。

### 2：団体会費について

会則を確認して検討することとなった。

### 3：震災に関する対応について(ステッカー関連)

全日本ラリー第3戦若狭ラリーにおいて、震災対応ステッカー200枚の配布を行った。また、その際に制作したデザインを若干修正して、第4戦福島以降で配布することとなった。

### 4：第2戦&第3戦の報告

#### ●第2戦久万高原ラリーについて

・事前広告の効果があり、1200人のギャラリーが観戦に訪れた。メディア的には、初日および2日目にギャラリー動員数を発表してもらえるとありがたい、との発言があった。

・ゼロカーがリタイアした。

#### ●第3戦若狭ラリーについて

・あるギャラリーよりJRCAに対して、愛情のこもったクレームのメールが届いた。SSSで混乱が見られた内容であり、競技長宛に転送した。

・大会プログラムの誤記が多発していた。選手の写真を共有するなど対応策が必要ではないか、との意見が出た。

・クラス分けが増加しておきており、できれば減らす方向で検討できないか、との意見が出た。クラス区分に関して参加選手にアンケートを行ってはどうか、

との意見が出た。

- ・イベント数を減らすことはできないか、との意見が出た。3週間に一度の割合で全日本があると、参加する側、特にサラリーマンは大変な労力を費やして参戦することになる。

- ・2012年に撤廃された「総合優勝」について、復活させてはどうかとの意見が出た。

- ・一番速いクラスの表記数字を、小さい数字にできないか、との意見が出た。一般の方に「自分はJN4で走っています」と説明しても、小さいクラスで走っていると受け取られるケースが多い。現在はWRCでもトップクラスはWRC1と少ない数字になっている。また、そうすることで、今後クラスの増減があった場合でも、最速クラスの数字は変えずに済ませることができる。

- ・JAFに対してJRCAが意見書を提出しても任意団体なので受理されないが、ライセンス番号を明記した選手の署名という形であれば、JAFは受理し、審議してくれる可能性があるだろうことから、第4戦福島において趣意書を作り、クラス名称と総合優勝についての署名活動を行うこととなった。

#### 5：JRCA全体の活動方針および活動の在り方について

- ・前記の署名活動も活動方法の一つとして取り入れていくこととなった。

- ・設立の原点に立ち返り、主催者、エントラント、ファンの間をつなぐ存在としてのJRCAというものを、重点に置いた活動を行ってはどうか。

- ・各所でプロモート活動が増加している。その一方で、JRCA Videoの必要性は多くの理事が感じていること。しかしながら、その収入源はガイドブックに大きく依存している。その点を踏まえて活動内容を考えていくべきではないか。

- ・現状はボランティアの集まりである。それに対して収支の額が大きくなりすぎているのではないか。

- ・現状では、会の方向がプロモーション優先となっている。理事会にもっと多くの選手の出席をうながしてはどうか。主催者意見交換会を開催するのと同じように、選手意見交換会を開催してはどうか。ドライバーズブリーフィングの前後にでも、選手に集まってもらって意見交換会を行ってはどうか。そもそも選手の意見を主催者に話をする機会もない。選手の意見を集約して主催者やJAFに伝えるのも、JRCAの役割ではないか。

#### 6：次回理事会開催予定

次回理事会は7月25日（月）か28日（木）開催となった。